

平成 18年 10月 26日

新宿区長

法人名 特定非営利活動法人  
全国日本語教師会

所在地 新宿区新宿 1-4-13 2F  
(フリガナ) イイ ヲリ

代表者氏名 石井 保則

## 事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

### 1 助成対象事業

事業名	夏休み親子日本語教室
実施日時又は期間	日本語指導員講座初級編 平成18年7月18・19・21・24・26日 10:00~12:00 夏休み親子日本語教室 平成18年7月31日~8月11日(土日除く) 10:00~12:00 子ども国際交流パーティー 平成18年8月26日 14:00~16:00
対象者の範囲及び人数	【日本語指導員講座初級編】現在、小学校などで外国人児童に日本語指導を行う、新宿区民を含む教員または一般の方々、9名 【親子日本語教室】新宿区在住者を含む外国人児童とその保護者、35名 【子ども交流パーティー】日本語指導員講座に参加した日本人、親子日本語教室に参加した外国人、その他区報などによる参加希望者、34名
事業内容	1・日本語指導員講座初級編 7月18日「概論・日本語を教えるってどんなこと? : 講義・ひらがな文字の教え方」 7月19日「演習: 講義・こそあど言葉の教え方」 7月21日「演習: 講義・名詞、動詞、形容詞の違いについて」 7月24日「演習: 講義・外国人が日本語を使える方法」 7月26日「演習: 概論・期待される日本語教師像」 2・夏休み親子日本語教室 7月31日~8月11日(土日)除く

	<p>3・こども国際交流パーティ 8月26日</p>
<p>具体的な活動状況</p>	<p>【日本語指導員講座初級編】 昨年よりも時間数を増やすと共に、内容も具体的指導法に重点を置き、演習（模擬授業）を取り入れた。そして、この講座に参加した人が「夏休み親子日本語教室」で実際に活動した。</p> <p>【夏休み親子日本語教室】 来日したばかりで日本語が話せず、学校や地域社会で困っている主に新宿区在住の外国人児童・生徒とその保護者たちが参加し、10日間でゲームなどを取り混ぜ、作文・音楽や、その他日常生活に対応した社会（課外授業）・算数（買い物）などの授業を行った。</p> <p>【こども国際交流パーティ】 「日本語指導員講座初級編」に参加した日本人、「夏休み親子日本語教室」に参加した外国人児童・生徒とその保護者、区報などで知り、参加をした方などが集まり、作文発表・歌・ゲームなどを行いながら、交流をすることで相互理解を図った。</p> <p>また、新宿区・教育委員会・プレスリリースなどによる告知活動を通じて外国人児童・生徒などへの日本語指導や多文化共生の重要性についての啓蒙活動を行った。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>【日本語指導員講座初級編】 元教員や日本語ボランティアに関心のある一般の方々10名が参加して行われた。実践力を重視した今回の講座では日程の半分を演習に充て、模擬授業を行いながら指導法を学んだ。演習の中で参加者たちは実際の日本語指導の難しさを実感したようだった。また、具体的で効果的な指導法や、日本語教育の重要性を学ぶことで、より日本語教育に対して関心が高まったという意見もあった。</p> <p>【夏休み親子日本語教室】 主に新宿区在住の外国人児童・生徒とその保護者、7カ国35名の親子が参加した。ひらがな文字さえわからない子や、恥かしがってなかなか話せない子ども達で、最初は声も小さく、バラバラだった授業前の挨拶も日を追う毎に大きく、揃ってくるのを聞くだけでも成長の程を感じられた。また、正教員の先生は毎回工夫を凝らした授業を展開し、楽しい教室風景が見られた。そして最後の作文の授業では将来の夢や、自己紹介などをみんなの前で発表することができた。</p> <p>【こども国際交流パーティ】 夏休み親子日本語教室に参加した学習者・教員や、区報などで知って参加した親子など総勢34名が参加した。子ども達はすいか割りなどで盛り上がると、すぐに打ち解けた。</p>

## 2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			83,915 円
	参加費・資料代等	日本語指導員講座@15,000×9 夏休み親子日本語教室@500×35		152,500 円
	その他の収入	日本語テキスト@2,550×4 ひらがなかーど@1,050×4		14,400 円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		250,000 円
	計			500,815 円
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	131,750 円	教室使用料（計 130,000 円） * 日本語指導員講座： <u>25,000 円</u> （@5,000×5 日、日本語教育新聞社） * 夏休み親子日本語教室： <u>50,000 円</u> （@5,000×10 日、日本語教育新聞社）+ <u>50,000 円</u> （@5,000×10 日、EII 日本語教育センター） * 子ども国際交流パーティー： <u>5,000 円</u> （日本語教育新聞社） 資料コピー代（計 1,750 円） * 日本語指導員講座： <u>800 円</u> （@10×80 枚、日本語教育新聞社） * 夏休み親子日本語教室： <u>950 円</u> （@10×95 枚、教育情報研究所）	
	宣伝費	201,000 円	輪転機使用料 <u>4,000 円</u> （@2×2,000 枚、教育情報研究所） 日本語教育新聞購入費（広告費含む） <u>130,000 円</u> ：（新聞購入費@200×400 部、広告費 50,000 円、日本語教育新聞社） チラシコピー代その他 <u>67,000 円</u> ：コピー代 20,000 円（@10×2,000 枚）FAX <u>42,000 円</u> （@30×2 枚×700 件）はがき <u>5,000 円</u> （@50×100 枚）（日本語教育新聞社）	
	リース費	0 円		
	消耗品費	4,508 円	紙・封筒 <u>1,194 円</u> 使い捨てカメラ・現像代 <u>3,314 円</u>	

	謝礼	64,000 円	日本語指導員講座講師謝礼 安西純子、中尾真理子、松井由美子（日本語教育新聞社）45,000 円 夏休み親子日本語教室講師謝礼（交通費込） 磯野早苗6,000 円、小林ゆき子1,600 円、片山洋子800 円、岡田文彦2,000 円、石川美幸3,000 円、渋谷葉1,600 円、深見千恵4,000 円
	材料費	23,940 円	教材仕入 計23,940 円：日本語テキスト 5,340 円（@890×6 部）ひらがなカード 18,600 円（@620×30 部）（日本語教育新聞社）
	交通費	0 円	
	その他諸経費	75,617 円	新聞折込手数料・郵送料 2 回分33,719 円+33,740 円（東伸社）雑費8,158 円
助成対象事業費（小計）		500,815 円	
余 剰 金		0 円	
助成対象外事業費		0 円	
事 業 総 額			500,815 円

### 3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	<p>【日本語指導員講座初級編講座】 受講生は実践的な講義を受け、なおかつ、夏休み親子日本語教室で補助教員として実際の授業に入ることで一定の目標は達成したと言える。ただ、受講生の中から優秀者に夏休み親子日本語教室で正教員として教えていただく、という目標は達成できなかった（候補者はいたが、準備を進める過程で辞退）。</p> <p>【夏休み親子日本語教室】 専門の日本語教師から授業を受けることで、積極的に日本語でコミュニケーションをとるようになった。</p> <p>【こども国際交流パーティ】 子ども同士は打ち解けるのが早く、みんなでゲームをしたり、ホワイトボードに落書きをしたりして楽しく交流できた。大人に関しては個人差があるものの、もう少し時間が必要かと思われた。</p>

<p>地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。</p>	<p>新宿区の協力による告知活動のおかげで、主に新宿区在住で「何か手伝えることがあれば」と考えていた日本人や外国人児童・生徒とその保護者が多数参加した。そして、日本語学習を通じて関わることで、より相互理解が促進されると期待している。</p>
<p>新たに気づいた課題は何か。</p>	<p>【日本語指導員講座初級編】 当初、優秀者に夏休み親子日本語教室で正教員として教えていただく予定であったが、一人候補が上がったものの、本人の辞退により達成できなかった。さらなる講座の充実が必要と思われる。</p> <p>【夏休み親子日本語教室】 日本語に対する興味を持たせたり、話し方など、ある程度の成果はあったが、レベルアップという視点では10日間という短期間では限界がある。もっと継続的に授業を行うことで、より効果的な日本語学習ができると思われる。</p>
<p>理解者や支援者が広がったか。</p>	<p>外国人児童・生徒が抱える問題に対する理解者を増やすことが重要な目的の一つであったが、新宿区の協力やマスコミの取材などで関心が広まったのでは、と考える。例えば、マスコミではNHK（首都圏放映）での昼・夕のニュース放送、読売新聞の「教育ルネッサンス」での特集、ラジオNIKKEIでの授業風景の放送等で取り上げられ、もともと関心はあったのだが、このような活動または団体があると知って問い合わせをいただいた例が多数あった。一方、参加者は実際に彼ら外国人と関わることで、思っていた以上におおきな現実問題として意識するようになった。</p>
<p>事務局の執行体制は十分だったか。</p>	<p>さまざまな方々に協力をいただいたので、大きな問題はなかった。</p>
<p>今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。</p>	<p>すでに協働事業提案書でも新宿区に提出しているが、単発的なものではなく、長期的・継続的にこれらの事業を行うことで、より効果的な日本語学習ができ、年齢やレベルに合わせた授業を行うことができる。また外国人と日本人が地域社会で積極的に関わる機会をさらに設けることで、より良い多文化共生社会が実現できると考えている。そして、もし教育委員会の協力が得られれば、現役の外国人児童担当の学校教員への日本語指導講座ができれば、学校内外で、より充実した日本語教育ができると考えている。</p>

その他	
-----	--

#### 4 活動の成果

- \* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
- \* 参加者の意見なども報告してください。

--